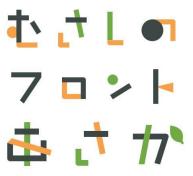
第5次朝霞市総合計画後期基本計画

人口動態及び人口推計の概要(速報版)(案)

2019年9月

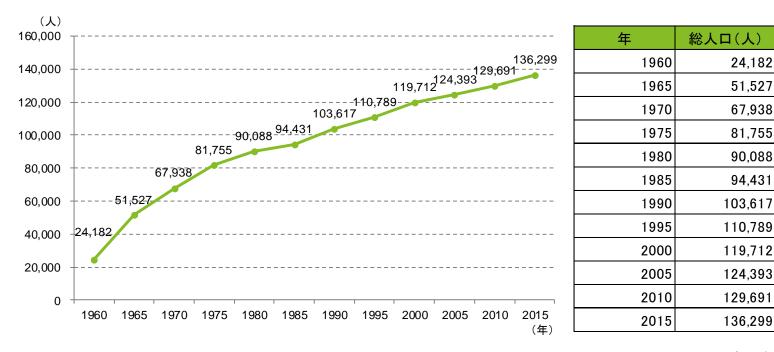


目次

1. 朝霞市の人口動態	3
2. 児童・生徒数及び学級数の推計	9
3. 住民基本台帳を用いた総人口の推計	27

総人口の推移

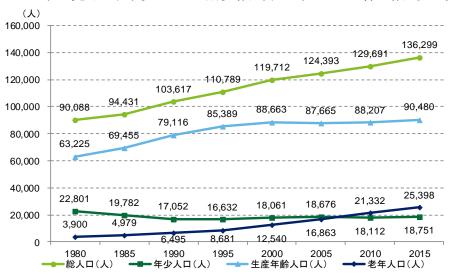
- 総人口は、1960年から増加傾向にあります。
- 1980年までは10%以上増加しており、1985年以降はおよそ5%の増加を続けています。
- 東武東上線の有楽町線や副都心線との相互乗り入れなど、都心へのアクセスの利便性向上が増加を続ける一因と考えられます。

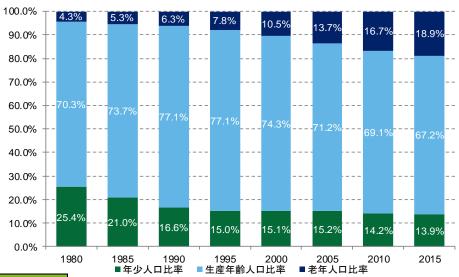


出所:国勢調査

年齢3区分別人口の推移

- 年少人口は、増加と減少を繰り返しつつも、長期的には減少傾向にあります。
- 生産年齢人口は、2005年に一度減少していますが、増加傾向にあります。
- 老年人口は、1980年から増加傾向にあり、2010年に年少人口を上回っています。
- 比率で見ると、年少人口は減少傾向、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいることが伺えます。





年	総人口(人)	年少人口 (人)	生産年齢人口(人)	老年人口 (人)	年少人口比 率	生産年齢人 口比率	老年人口比 率
1980	90,088	22,801	63,225	3,900	25.4%	70.3%	4.3%
1985	94,431	19,782	69,455	4,979	21.0%	73.7%	5.3%
1990	103,617	17,052	79,116	6,495	16.6%	77.1%	6.3%
1995	110,789	16,632	85,389	8,681	15.0%	77.1%	7.8%
2000	119,712	18,061	88,663	12,540	15.1%	74.3%	10.5%
2005	124,393	18,676	87,665	16,863	15.2%	71.2%	13.7%
2010	129,691	18,112	88,207	21,332	14.2%	69.1%	16.7%
2015	136,299	18,751	90,480	25,398	13.9%	67.2%	18.9%

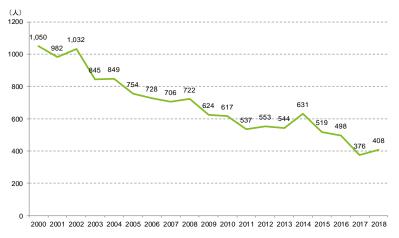
※年齢3区分人口は、年齢不詳人口を含まないため、 総人口には一致しない ※比率は、年齢不詳人口を除いている

出所:国勢調査

出生・死亡数及び自然増減の推移

- 出生数は、2003年に減少した後、横ばいで推移しています。
- 死亡数は、減少している年もありますが、長期的に増加傾向にあります。
- 自然増減は、2000年から2018年まで自然増を維持していますが、増加幅は長期的に減少傾向にあります。





年	出生数	死亡数	自然増減 (出生-死亡)
2000	1,564	514	1,050
2001	1,534	552	982
2002	1,579	547	1,032
2003	1,437	592	845
2004	1,481	632	849
2005	1,417	663	754
2006	1,425	697	728
2007	1,431	725	706
2008	1,464	742	722
2009	1,354	730	624
2010	1,376	759	617
2011	1,366	829	537
2012	1,378	825	553
2013	1,385	841	544
2014	1,456	825	631
2015	1,411	892	519
2016	1,408	910	498
2017	1,338	962	376
2018	1,401	993	408
·			ULEC #1=1++1.

出所:統計あさか

合計特殊出生率の推移

- 合計特殊出生率は、増減を繰り返しながらも、概ね1.30~1.50の間で推移しています。
- 全国と比較すると、多くの年で上回っており、2017年は同水準となっています。
- 埼玉県と比較すると、1996年~2017年にかけて上回っています。

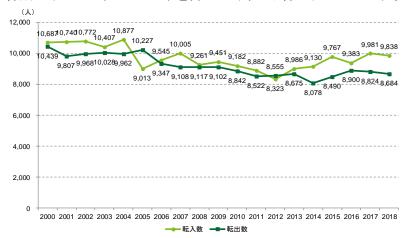


年	全国	埼玉県	朝霞市
1996	1.43	1.37	1.59
1997	1.39	1.31	1.53
1998	1.38	1.28	1.56
1999	1.34	1.23	1.40
2000	1.36	1.30	1.45
2001	1.33	1.24	1.42
2002	1.32	1.23	1.39
2003	1.29	1.21	1.22
2004	1.29	1.20	1.35
2005	1.26	1.22	1.46
2006	1.32	1.24	1.35
2007	1.34	1.26	1.35
2008	1.37	1.28	1.46
2009	1.37	1.28	1.31
2010	1.39	1.32	1.51
2011	1.39	1.28	1.39
2012	1.41	1.29	1.38
2013	1.43	1.33	1.43
2014	1.42	1.31	1.54
2015	1.45	1.39	1.56
2016	1.44	1.37	1.47
2017	1.43	1.36	1.43
	111=11 14	てほ 「 は て ほ ふ ク	. = 4+ +4 1 4- ++ .

出所:埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」

転入・転出数及び社会増減の推移

- 転入数は、2012年まで長期的に減少傾向でしたが、2015年にかけて増加し、以降9,000人台で推移しています。
- 転出数は、長期的に減少傾向にあります。
- 社会増減は、2005年と2012年を除いて、社会増となっています。





年	転入数	転出数	社会増減 (転入一転出)
2000	10,687	10,439	248
2001	10,740	9,807	933
2002	10,772	9,968	804
2003	10,407	10,028	379
2004	10,877	9,962	915
2005	9,013	10,227	-1,214
2006	9,545	9,347	198
2007	10,005	9,108	897
2008	9,261	9,117	144
2009	9,451	9,102	349
2010	9,182	8,842	340
2011	8,882	8,522	360
2012	8,323	8,555	-232
2013	8,986	8,675	311
2014	9,130	8,078	1,052
2015	9,767	8,490	1,277
2016	9,383	8,900	483
2017	9,981	8,824	1,157
2018	9,838	8,684	1,154

出所:統計あさか

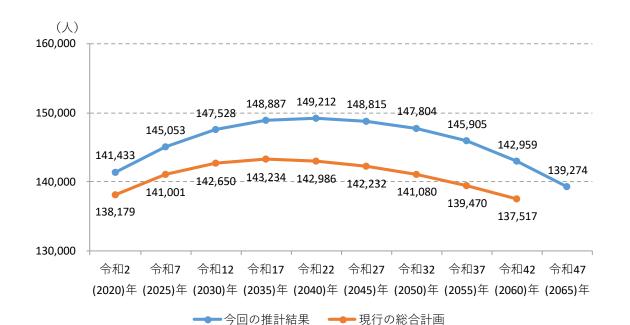
推計の条件

■ 現行の総合計画に掲載されている推計(基本推計案)における仮定内容を基本に、最新の数値を活用しながら、令和47(2065)年までの総 人口を推計しました。

No.	項目	仮定内容	現行の総合計画(基本推計案)
1	データ出典	住民基本台帳人口	住民基本台帳人口
2	基準日	平成31(2019)年1月1日	平成25(2013)年1月1日
3	推計期間	令和47(2065)年まで、1年ごとに、男女1歳階級別に実施	平成45(2033)年まで、1年ごとに、男女1歳階級別に実施
4	移動率	平成21(2009)年から平成31(2019)年までの毎年の人口動態の比率を平均(10か年分)して算出転入出者数が人口に占める割合に比例して、純移動率は令和47(2065)年にかけて、推計開始時の36.3%まで低下するよう補正	平成20(2008)年~平成24(2012)年の純移動率の実績値を用いて算出 転入出者数が人口に占める割合に比例して、純移動率は 平成45年にかけて推計開始時の55.7%まで低下するよう 補正
5	生残率	厚生労働省の第22回完全生命表(平成27年国勢調査人 口を基に作成)の生残率を活用	「日本の将来推計人口」(H24.1)の生残率仮定値(中位) を、H22年埼玉県の生命表を用いて補正
6	出生率	平成29(2017)年の年齢階級別出生率を活用	「日本の将来推計人口」(H24.1)の出生率仮定値(中位) を、埼玉県の合計特殊出生率(過去10年間)で補正
7	出生時の男 女性比	社人研発表の朝霞市男女性比(男105.2:女100)を活用	社人研発表の男女性比(男105.5:女100)

推計結果(全年齡)

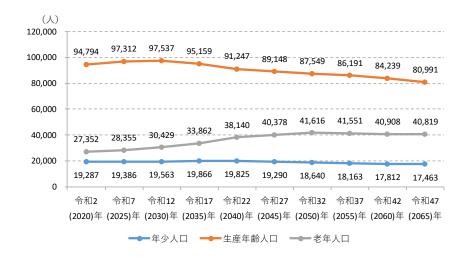
- 今後はしばらく増加傾向で推移し、令和22(2040)年でピーク(149,212)人を迎え、以降減少傾向に転じて、令和47(2065)年には139,274 人になると見込まれます。
- 現行の総合計画の推計と比較すると、ピークは5年遅くなっており、またピーク時の人口は5,978人上回っています。

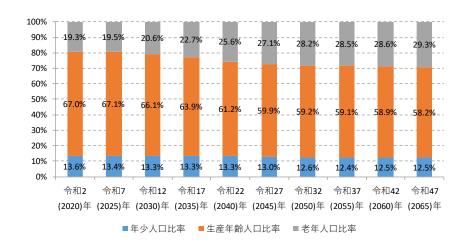


	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年
今回の推計結果	141, 433	145, 053	147, 528	148, 887	149, 212	148, 815	147, 804	145, 905	142, 959	139, 274
現行の総合計画	138, 179	141, 001	142, 650	143, 234	142, 986	142, 232	141, 080	139, 470	137, 517	

推計結果(年齡3区分別人口)

- 年少人口は令和2(2020)年、生産年齢人口は令和17(2035)年から減少し、老年人口は令和2(2020)年から増加すると見込まれます。
- 年齢3区分別人口の比率をみると、老年人口の比率は増加すると見込まれ、高齢化の進展が予想されます。





	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年
総人口	141, 433	145, 053	147, 528	148, 887	149, 212	148, 815	147, 804	145, 905	142, 959	139, 274
年少人口	19, 287	19, 386	19, 563	19, 866	19, 825	19, 290	18, 640	18, 163	17, 812	17, 463
生産年齢人口	94, 794	97, 312	97, 537	95, 159	91, 247	89, 148	87, 549	86, 191	84, 239	80, 991
老年人口	27, 352	28, 355	30, 429	33, 862	38, 140	40, 378	41, 616	41, 551	40, 908	40, 819
年少人口比率	13.6%	13. 4%	13. 3%	13. 3%	13. 3%	13.0%	12.6%	12.4%	12.5%	12.5%
生産年齢人口比率	67.0%	67. 1%	66. 1%	63. 9%	61. 2%	59.9%	59. 2%	59.1%	58.9%	58.2%
老年人口比率	19. 3%	19. 5%	20. 6%	22. 7%	25. 6%	27. 1%	28. 2%	28.5%	28.6%	29.3%

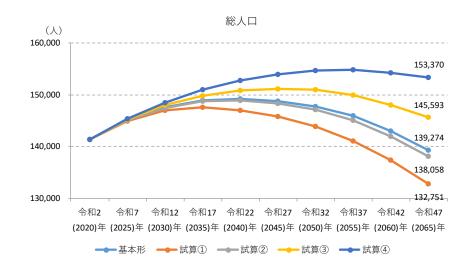
社会移動、合計特殊出生率の試算

■ 前頁の推計を基本形とし、社会移動と合計特殊出生率において仮定を置いて、複数の試算を実施しました。

No.	試算 パターン	社会移動	合計特殊出生率	令和47(2065)年 時点の人口
1	基本形	平成21(2009)年から平成31(2019)年までの毎年の人口動態の比率を平均(10か年分)して算出 転入出者数が人口に占める割合に比例して、純移動率は令和47(2065)年にかけて、推計開始時の36.3%まで低下するよう補正	平成29(2017)年の年齢階級別出生率を活用	13.9万人
2	試算①	令和12(2030)年時点で、基本形の2割減に達する	令和22(2040)年までに1.4に達し、以後一定	13.3万人
3	試算②	基本形の条件に同じ	令和22(2040)年までに1.4に達し、以後一定	13.8万人
4	試算③	基本形の条件に同じ	令和22(2040)年までに1.6に達し、以後一定	14.5万人
5	試算④	基本形の条件に同じ	令和22(2040)年までに1.8に達し、以後一定	15.3万人

試算結果

■ 試算①、②は基本形を下回り、試算③、④は基本形を上回って推移すると見込まれます。



	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年
基本形	141, 433	145, 053	147, 528	148, 887	149, 212	148, 815	147, 804	145, 905	142, 959	139, 274
試算①	141, 433	144, 923	146, 949	147, 594	147, 070	145, 778	143, 882	141, 121	137, 316	132, 751
試算②	141, 433	145, 030	147, 443	148, 702	148, 896	148, 355	147, 190	145, 117	141, 970	138, 058
試算③	141, 433	145, 171	147, 964	149, 832	150, 827	151, 171	150, 951	149, 951	148, 063	145, 593
試算④	141, 433	145, 311	148, 485	150, 961	152, 760	153, 989	154, 724	154, 828	154, 274	153, 370